

[演題名、筆頭演者氏名、共著者氏名、所属機関名]

松戸市在宅医療・介護連携支援センターが取り組む在宅医療スタートアップ支援3年間の総括  
松澤 亮

湯浅 孝史, 近藤唯宇, 川越正平

松戸市在宅医療・介護連携支援センター

[抄録本文]

**【はじめに】**

松戸市在宅医療・介護連携支援センター（以下、Cという）では、かかりつけ医の在宅医療参入を推進するため、在宅医療に取り組んでいない開業医 10 名へのインタビュー調査で得られた意見を基に課題を抽出し、在宅医療参入阻害因子を取り除く支援を行っている。

**【活動】**

C の在宅医療事務経験を有する事務職（以下、事務職という）が、医師会員に対し「かかりつけ医の在宅医療スタートアップ支援」を行っている。依頼元は、新規開業・在宅医療新規参入希望医院、保険請求や各種制度の理解に不安を抱える 24 の医院等であった。支援依頼は 117 件あり、延べ 151 回の支援を行った。支援依頼方法は、訪問 27 件、来所 7 件、電話 41 件、FAX10 件、E-mail48 件、資料提供 14 件であった。

支援依頼の内容は、①新規開業・在宅医療新規参入時の手順解説、院内掲示等必要書類の整備支援 7 件、②各種同意書、訪問薬剤管理指導等に係る診療情報提供書各種ひな型、注射等指示票等の推奨統一様式提供 3 件、③医療保険請求作成支援・点検支援 67 件、④介護保険請求作成支援・点検支援 11 件、⑤新しい加算等の届出や各種制度関係の解説 10 件、⑥個別指導の際に指摘が多く、カルテへの記載が漏れやすい等の要点解説や診療補助記録の整備方法等の支援 3 件、⑦施設への在宅医療提供や訪問看護等との医療・介護連携に関する支援 5 件、⑧駐車禁止除外申請方法や在宅医療材料在庫管理方法など診療周辺支援 4 件、⑨医院のインフラや、PC・周辺機器等の環境整備支援 7 件であった。また、「医療・介護連携地域 ICT システム」の運用を通して、会議・研修の Web 開催を含め、情報システム管理の側面からも会員を支援している。

**【考察】**

在宅医療参入や受入拡大を阻害する因子を取り除く支援を行うことは、在宅医療参入や受入拡大に有用であり、他地域においても援用可能な活動であると考ええる。

(COI:)なし